



～ ドライブレコーダーの選び方 ～

車に取り付けて走行状況や事故状況を録画できるドライブレコーダーは、この1～2年の間に運転中だけでなく駐車中も録画できるようになるなど、大きく進化しています。画質も記録画素数が向上し、フルハイビジョンでの記録も可能になってきました。年々進化を遂げるドライブレコーダーのトレンド、選び方です。

当て逃げや車上荒らしも記録できる、「駐車録画」機能搭載製品が増加



運転中だけでなく、エンジンを切っている駐車中でも録画し続けてくれる製品が増加しています。買い物で車から離れているときの当て逃げや、夜間の車上荒しなどを記録できます。この機能は、「駐車録画」や「駐車監視機能」「駐車記録機能」などと呼ばれています。

標識やナンバーなども確認しやすい、200万画素以上の製品が主流に



数年前の製品はカメラの画素数が30万画素程度でしたが、最近では200万画素以上が主流となっています。200万画素以上であればフルハイビジョン録画が可能で、標識やナンバープレートもはっきり映ります。

逆光でも明るさを最適に調整する「WDR機能」搭載製品が人気



逆光のなか、カメラで撮影すると本来の明るさの強弱が失われてしまい、画像が白くなる「白飛び」や黒くなる「黒つぶれ」が起きてしまいます。しかし、明るさを自動調整してそれらを防いでくれる「WDR（ワイドダイナミックレンジ）」や「HDR（ハイダイナミックレンジ）」機能があれば見やすい映像を記録できるため、人気を集めています。

http://kakaku.com/car_goods/drive-recorder/guide_7034/